



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン・パキスタン関係：パキスタン大統領のイラン訪問（25日付イラン学生通信ほか）

イランの25日付ターブナーク（ニュース・サイト）および27日付イラン学生通信は、パキスタンのザルダリー大統領のイラン訪問について報じた。

1. イランのハーメネイー最高指導者はザルダリー大統領との会談において、「経済的、政治的、社会的、安全保障およびインフラ分野で、両国関係が強化されなければならないという信念を有している」と述べ、「イラン・パキスタン間のガス・パイプラインは、二国間協力の重要な例である。両国関係の拡大に対する反対や敵意が存在しているが、そうした反対を断固としてくぐり抜けなければならない」と発言した。
2. イランのアフマディーネジャード大統領はザルダリー大統領との会談において、「イラン・パキスタン間のガス・パイプラインの敷設は、重大かつ重要な事柄である。同パイプラインの敷設は、両国と地域諸国の利益となる」と発言した。
3. ザルダリー大統領がイランを訪問する前に、テヘランにて、イランからのLPG輸入と製油所建設に関し、二国間協議が実施された。
 - (1) 両国の石油省高官が同協議に参加した。パキスタン石油省の高官は、同協議は戦略的重要性を有し、パキスタンのエネルギー危機を解決する契約の実現を目的に開始されたと述べた。
 - (2) 同高官は、イランのガーセミー石油大臣がパキスタンを訪問した際、イラン側は、1トン当たり30米ドルでのLPG売却をパキスタン側に提示した。双方は、イランが第一段階において、1万トンのLPGをパキスタンに輸出し、その後、輸出量を漸増させることで合意した。
 - (3) 2月20日、ガーセミー石油大臣がパキスタンを訪問し、パキスタン首相と会談した。双方は、イラン・パキスタン間のガス・パイプライン建設合意を前向きな一歩であると述べた。なお、1月31日に、イランのヴェラーヤティ最高指導者外交顧問も、訪問先のパキスタンで、同計画に関する決定に祝意を表していた。